

平田出張所便り

夏の斐伊川

第11号(9月13日版)

島根県東部を流れる大河斐伊川は、出水期間（6月26日～10月20日まで）中のこの時期、本来豊富な水が流れているはずですが、梅雨前線や台風の大雨による河川の増水が一旦収まると、下流域では川の表情が一変します。

写真のように砂だらけの川底が全面に広がり、**砂れん**（大蛇のウロコに例えられています）という独特の様相が現れます。

こういう状況の中で必要な用水を確保するため、周辺の農業関係者の方々は、川の中に**砂堰**を設ける等の工夫を行って水の確保に努めています。



からさで大橋付近
(出雲市大津町)



瑞穂橋上流付近
(出雲市灘分町)



神立橋上流付近の砂堰
(出雲市大津町)



南神立橋上流付近の砂堰
(斐川町出西地区)

～ 担当者からのひとこと ～

猛暑続きの今年の夏、斐伊川流域に適度な降雨をもたらした台風9号は、恵みの雨でした。